



「長時間作用性β2刺激吸入薬（LABA）および長時間作用型抗コリン吸入薬（LAMA）による気管支拡張薬治療に吸入ステロイド（ICS）追加前後のCOPD病態の変化と吸入ステロイド（ICS）上乗せ効果の比較検討」

2015年4月から2026年10月31日までの期間で日本医科大学付属病院呼吸器内科および日本医科大学呼吸ケアクリニックにてCOPD診療でICS投与を行った患者さん

研究協力のお願い

当科では「長時間作用性β2刺激吸入薬（LABA）および長時間作用型抗コリン吸入薬（LAMA）による気管支拡張薬治療に吸入ステロイド（ICS）追加前後のCOPD病態の変化と吸入ステロイド（ICS）上乗せ効果の比較検討」という研究を倫理委員会の承認並びに院長の許可のもと、倫理指針及び法令を遵守して行います。この研究は、2015年04月01日から2026年10月31日までに日本医科大学付属病院呼吸器内科及び同呼吸ケアクリニックにて、慢性閉塞性肺疾患のためにICS投与を受けられた患者さんのICS投与開始後1年間の診療を受けられた患者さんの診療内容と治療の成果や成績を調査する研究で、研究目的や研究方法は以下の通りです。直接のご同意はいただかずに、この掲示によるお知らせをもって実施いたします。皆様方におかれましては研究の主旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。この研究へのご参加を希望されない場合、途中からご参加取りやめを希望される場合、また、研究資料の閲覧・開示、個人情報の取り扱い、その他研究に関するご質問は下記の問い合わせ先へご連絡下さい。

（1）研究の概要について

研究課題名：長時間作用性β2刺激吸入薬（LABA）および長時間作用型抗コリン吸入薬（LAMA）による気管支拡張薬治療に吸入ステロイド（ICS）追加前後のCOPD病態の変化と吸入ステロイド（ICS）上乗せ効果の比較検討

研究期間：研究実施許可日～2027年10月31日

研究責任者：日本医科大学付属病院 呼吸器内科 准教授 田中 庸介

（2）研究の意義、目的について

日常臨床に於いて行っている患者診療において、当院並びに呼吸ケアクリニックで一般的に行われる病態評価や診療内容を吸入ステロイド使用前後の変化と併せて解析し、ICSを投与すべき患者の指標の構築から将来各患者毎に、より効果を期待できる治療を優先とし、必要性の少ないや治療を減らすことで患者の負担軽減につながることを目的とします。

（3）研究の方法について（研究に用いる試料・情報の種類）

2015年04月01日より2026年10月31日までに日本医科大学付属病院呼吸器内科、同呼吸ケアクリニックにて、COPDに対してICS投与を受けられた患者さんのICS投与開始後1年間の診療内容と検査結果や治療成績などを解析し、より最適な病態の評価法や診療計画の立案、より最適な治療法についての検討を行います。

この研究は患者さんの以下の試料・情報を用いて行われます。

試料：なし

情報：年齢、性別、画像、血液データ、生理機能検査所見等

（4）個人情報保護について

研究にあたっては、個人を直接特定できる情報は使用いたしません。また、研究発表時にも個人情報は使用いたしません。その他、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（文部科学省・厚生労働省・経済産業省）」および「同・倫理指針ガイド」に則り、個人情報の保護に努めます。

（5）研究成果の公表について

この研究成果は学会発表、学術雑誌などで公表いたします。

（6）問い合わせ等の連絡先

日本医科大学付属病院 呼吸器内科 准教授 田中 庸介

〒113-8603 東京都文京区千駄木1-1-5

電話番号：03-3822-2131（代表） 内線：6472

メールアドレス：yosuke-t@nms.ac.jp